



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月26日

上場会社名 黒田精工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒田 浩史  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荻窪 康裕 TEL 044-555-3800  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（当社ホームページに説明動画を掲載予定です）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	15,083	△15.0	338	△73.5	275	△77.6	132	△84.8
2019年3月期	17,754	10.2	1,277	144.8	1,230	147.9	871	245.1

（注）包括利益 2020年3月期 △100百万円（-%） 2019年3月期 376百万円（△43.0%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	23.45	—	1.5	1.4	2.2
2019年3月期	155.19	—	10.0	6.3	7.2

（参考）持分法投資損益 2020年3月期 2百万円 2019年3月期 5百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	18,838	8,818	45.8	1,529.08
2019年3月期	19,909	9,043	44.6	1,580.46

（参考）自己資本 2020年3月期 8,625百万円 2019年3月期 8,883百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	436	△1,132	270	2,214
2019年3月期	1,417	△921	△376	2,623

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	—	—	25.00	25.00	140	16.1	1.6
2020年3月期	—	—	—	15.00	15.00	84	64.0	1.0
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—		—	

（注）2021年3月期の配当予想につきましては、現時点で業績予想の算定が困難であるため、未定といたします。配当額の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現時点において合理的に算定することが困難であるため、未定といたします。今後、合理的に算定することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2020年3月期	5,648,704株	2019年3月期	5,628,566株
2020年3月期	7,483株	2019年3月期	7,980株
2020年3月期	5,635,766株	2019年3月期	5,618,468株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	12,440	△20.1	121	△89.8	87	△92.8	147	△83.1
2019年3月期	15,563	14.1	1,196	115.9	1,210	109.9	873	98.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	26.14	—
2019年3月期	155.52	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	18,112	8,579	47.4	1,520.82
2019年3月期	18,980	8,792	46.3	1,564.28

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,579百万円 2019年3月期 8,792百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、(添付資料)3ページ「経営成績の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況.....	3
(4) 今後の見通し.....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当.....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(連結損益計算書) .....	6
(連結包括利益計算書) .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. その他 .....	16
(1) 役員の異動 .....	16
(2) その他 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済状況は、米中貿易摩擦の長期化等による世界経済の減速に加え、1月以降の新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、年度後半には2四半期連続で実質GDP成長率がマイナスになるなど、極めて厳しい状況となりました。

こうした状況下、当社グループにおける受注高は13,339百万円（前年同期比4,783百万円、26.4%減）となり、売上高も15,083百万円（前年同期比2,671百万円、15.0%減）と減収となりました。

利益面に関しては、売上原価及び販売管理費の抑制に努めたものの売上高の減少を補うには至らず営業利益は338百万円（前年同期比939百万円、73.5%減）、経常利益は275百万円（前年同期比955百万円、77.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益132百万円（前年同期比739百万円、84.8%減）と大幅な減益となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

#### ○ 駆動システム

当セグメントでは、米中貿易摩擦や世界的景気減速の影響を受けて、期待していた半導体業界等の市況回復が遅れたことに加え、工作機械業界等の大幅な落ち込みや年明けからの新型コロナウイルスの感染拡大による受注の低迷により、受注高は4,901百万円（前年同期比3,466百万円、41.4%減）と大きく減少しました。売上高は受注残の消化により落ち込みを最小限に留めたものの、6,937百万円（前年同期比1,318百万円、16.0%減）となり、営業利益は358百万円（前年同期比538百万円、60.0%減）と減収減益となりました。

#### ○ 金型システム

当セグメントでは、自動車の電動化の動きが加速する中で、車載用モーター関連で来季以降の業績寄与が期待される複数の新規プロジェクトを獲得するとともに、既存プロジェクトの増産の恩恵を受けました。その一方で、世界的な景気低迷により、産業用モーター向け金型や家電向けモーターコアの受注・売上が落ち込みました。更に、新型コロナウイルス感染拡大の結果、立会の中止や物流の停滞に伴い期末に予定していた金型の出荷が出来なかったり、マレーシアの子会社が政府の全土封鎖命令により操業休止になる等の影響を受けました。以上の結果、受注高は4,296百万円（前年同期比327百万円、7.1%減）、売上高は3,551百万円（前年同期比1,077百万円、23.3%減）となりました。利益面では減収の影響に加え、新規プロジェクト向けプロセス開発の先行投資負担が発生したこと等により営業損失242百万円（前年同期は営業利益168百万円）と損失計上となりました。

#### ○ 機工・計測システム

当セグメントでは、自動車分野や半導体業界における投資抑制等の影響を受けるとともに、ロボット向け減速機市場や工作機械市場が低迷したことにより、受注高は要素機器、システム部門ともに低迷し、4,160百万円（前年同期比1,038百万円、20.0%減）となりました。一方、売上高は要素機器の売上が減少したものの、平面研削盤の売上の減少が最小限に抑えられたことに加え、(株)ゲーシングの売上が好調に推移したこと等により、4,613百万円（前年同期比324百万円、6.6%減）と落ち込みは軽微に抑えることができました。利益面では収益改善活動の成果による利益率の向上及び販売管理費の圧縮等が寄与して営業利益255百万円（前年同期比12百万円、5.2%増）と増益となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は18,838百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,070百万円減少しました。これは主に有形固定資産が464百万円増加したものの、上場株式の株価下落による投資有価証券の減少等により固定資産合計が46百万円減少し、現金及び預金、売上債権の減等により流動資産が1,024百万円減少したことによるものです。

負債合計額は10,020百万円となり、前連結会計年度末と比較して845百万円減少しました。これは主に長期借入金の増加等により固定負債が72百万円増加したものの、仕入債務、未払法人税及び賞与引当金の減少等により流動負債が918百万円減少したことによるものです。

また、当連結会計年度末の純資産は8,818百万円となり、前連結会計年度末と比較して225百万円減少しました。これは主にその他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定等でその他包括利益累計合計額が266百万円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に対し408百万円減の2,214百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は436百万円（前年同期は1,417百万円の増加）となりました。これは仕入債務の減少556百万円、法人税等の支払額524百万円等により資金が減少した一方、税金等調整前当期純利益229百万円、減価償却費770百万円、売上債権の減少795百万円等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1,132百万円（前年同期は921百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得1,275百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は270百万円（前年同期は376百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の増加額568百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	44.4	45.8	44.1	44.6	45.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	25.0	62.6	67.9	37.4	20.4
債務償還年数 (年)	4.1	3.6	6.3	2.3	8.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	10.9	12.3	10.0	25.4	7.7

(注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産  
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産  
 債務償還年数 : 借入金/営業キャッシュ・フロー  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利息の支払額

※各指標の算出は、連結ベースの財務数値によっております。  
 ※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。  
 ※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を前連結会計年度の期首から適用しており、2018年3月期の指標については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界の経済、社会生活において新型コロナウイルスの感染拡大の影響が日増しにその深刻度を増しており、終息時期の見通しが立たない中、国内外の経済情勢の先行きを見極めることは困難な状況となっております。

このような状況下において、当社グループは新型コロナウイルスの感染拡大の影響による様々な事業環境の変化に注意を払い、適時適切な対応を図ることで、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を最小限にすべく取り組んでまいります。

次期の業績につきましては、新型コロナウイルスの影響が日々深刻化する中、現時点では不確定要素が多く合理的な業績予想の算出が困難なことから未定とし、今後、合理的に予想可能となった時点で速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の配当政策は、企業体質強化のための内部留保の充実を勘案しつつ、業績に裏付けられた安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。特に一定の計算式を用いて配当額を定めることはいたしておりませんが、収益状況、経営環境を勘案し、都度適切な配当額を決定したいと考えております。

当期の剰余金の配当支払につきましては、1株当たり15円00銭の期末配当を予定しております。

また次期の年間配当につきましては、現時点で業績予想の算定が困難であるため、未定といたします。配当額の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,648,546	2,240,366
受取手形及び売掛金	3,646,597	2,866,262
電子記録債権	88,680	61,860
商品及び製品	905,330	923,815
仕掛品	1,680,517	1,672,376
原材料及び貯蔵品	875,288	896,052
その他	281,704	443,047
貸倒引当金	△8,643	△10,386
流動資産合計	10,118,021	9,093,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,281,522	2,541,133
機械装置及び運搬具(純額)	1,092,007	1,552,146
土地	1,869,755	1,869,755
リース資産(純額)	209,787	250,934
建設仮勘定	525,954	275,339
その他(純額)	249,306	203,026
有形固定資産合計	6,228,334	6,692,335
無形固定資産		
のれん	915,920	810,189
その他	230,359	182,208
無形固定資産合計	1,146,280	992,397
投資その他の資産		
投資有価証券	1,662,158	1,304,335
繰延税金資産	465,812	543,593
その他	290,072	213,856
貸倒引当金	△1,451	△1,456
投資その他の資産合計	2,416,591	2,060,329
固定資産合計	9,791,207	9,745,062
資産合計	19,909,228	18,838,457

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,292,785	1,051,626
電子記録債務	1,949,813	1,615,602
短期借入金	1,656,903	1,995,837
リース債務	74,917	69,294
未払法人税等	344,151	—
賞与引当金	362,455	260,441
受注損失引当金	7,471	5,725
その他	998,676	770,426
流動負債合計	6,687,173	5,768,953
固定負債		
長期借入金	1,676,311	1,845,896
リース債務	161,195	174,761
再評価に係る繰延税金負債	358,749	358,749
役員退職慰労引当金	14,116	18,178
環境対策引当金	114,037	60,168
退職給付に係る負債	1,490,506	1,440,717
その他	363,732	352,690
固定負債合計	4,178,649	4,251,163
負債合計	10,865,823	10,020,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,883,557	1,892,116
資本剰余金	1,485,902	1,494,579
利益剰余金	3,754,406	3,746,053
自己株式	△9,191	△8,880
株主資本合計	7,114,675	7,123,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	632,255	394,665
土地再評価差額金	814,401	814,401
為替換算調整勘定	317,606	265,155
退職給付に係る調整累計額	4,181	27,788
その他の包括利益累計額合計	1,768,444	1,502,010
非支配株主持分	160,285	192,460
純資産合計	9,043,405	8,818,339
負債純資産合計	19,909,228	18,838,457

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	17,754,797	15,083,328
売上原価	12,642,466	11,219,913
売上総利益	5,112,330	3,863,415
販売費及び一般管理費	3,834,408	3,524,557
営業利益	1,277,922	338,857
営業外収益		
受取配当金	50,418	45,239
持分法による投資利益	5,140	2,570
設備賃貸料	31,540	34,410
ロイヤリティ	57,915	21,810
その他	48,296	78,836
営業外収益合計	193,311	182,868
営業外費用		
支払利息	54,519	56,733
売上割引	38,458	31,211
為替差損	14,448	71,470
シンジケートローン手数料	39,151	2,523
賃貸設備原価	24,045	26,960
その他	70,161	57,409
営業外費用合計	240,784	246,309
経常利益	1,230,449	275,415
特別利益		
固定資産売却益	—	856
投資有価証券売却益	37,605	45,136
特別利益合計	37,605	45,992
特別損失		
固定資産除却損	13,524	59
固定資産売却損	—	2,047
子会社清算損	—	8,097
クレーム対策関連費用	—	10,010
災害による損失	—	30,951
貸倒損失	—	41,128
環境対策引当金繰入額	24,394	—
特別損失合計	37,918	92,294
税金等調整前当期純利益	1,230,135	229,113
法人税、住民税及び事業税	398,697	61,979
法人税等調整額	△48,491	1,215
法人税等合計	350,206	63,194
当期純利益	879,928	165,918
非支配株主に帰属する当期純利益	7,974	33,744
親会社株主に帰属する当期純利益	871,954	132,174



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	879,928	165,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△354,716	△237,590
為替換算調整勘定	△93,108	△52,655
退職給付に係る調整額	△55,648	23,606
その他の包括利益合計	△503,473	△266,638
包括利益	376,455	△100,719
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	373,976	△134,259
非支配株主に係る包括利益	2,479	33,539

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,875,000	1,451,395	2,952,609	△9,091	6,269,914
当期変動額					
新株の発行	8,557	8,557			17,114
剰余金の配当			△70,157		△70,157
親会社株主に帰属する 当期純利益			871,954		871,954
土地再評価差額金の 取崩					—
自己株式の取得				△100	△100
連結子会社株式の取得 による持分の増減		25,949			25,949
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	8,557	34,507	801,796	△100	844,761
当期末残高	1,883,557	1,485,902	3,754,406	△9,191	7,114,675

	その他の包括利益累計額					非支配株 主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	986,971	814,401	405,219	59,830	2,266,422	161,314	8,697,651
当期変動額							
新株の発行							17,114
剰余金の配当							△70,157
親会社株主に帰属する 当期純利益							871,954
土地再評価差額金の 取崩							—
自己株式の取得							△100
連結子会社株式の取得 による持分の増減							25,949
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△354,716	—	△87,613	△55,648	△497,978	△1,028	△499,006
当期変動額合計	△354,716	—	△87,613	△55,648	△497,978	△1,028	345,754
当期末残高	632,255	814,401	317,606	4,181	1,768,444	160,285	9,043,405

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,883,557	1,485,902	3,754,406	△9,191	7,114,675
当期変動額					
新株の発行	8,558	8,558			17,117
剰余金の配当			△140,527		△140,527
親会社株主に帰属する 当期純利益			132,174		132,174
土地再評価差額金の 取崩					—
自己株式の取得				△33	△33
連結子会社所有の 親会社株式の処分		117		344	462
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	8,558	8,676	△8,353	311	9,193
当期末残高	1,892,116	1,494,579	3,746,053	△8,880	7,123,868

	その他の包括利益累計額					非支配株 主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	632,255	814,401	317,606	4,181	1,768,444	160,285	9,043,405
当期変動額							
新株の発行							17,117
剰余金の配当							△140,527
親会社株主に帰属する 当期純利益							132,174
土地再評価差額金の 取崩							
自己株式の取得							△33
連結子会社所有の 親会社株式の処分							462
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△237,590		△52,450	23,606	△266,434	32,175	△234,258
当期変動額合計	△237,590	—	△52,450	23,606	△266,434	32,175	△225,065
当期末残高	394,665	814,401	265,155	27,788	1,502,010	192,460	8,818,339

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,230,135	229,113
減価償却費	678,927	770,478
のれん償却額	67,985	64,035
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,636	1,866
賞与引当金の増減額 (△は減少)	71,337	△102,013
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△136,529	4,061
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△60,662	△15,781
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△5,901	△1,745
受取利息及び受取配当金	△55,911	△50,246
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△3,909	△53,868
支払利息	54,519	56,733
持分法による投資損益 (△は益)	△5,140	△2,570
子会社清算損益 (△は益)	—	8,097
固定資産売却損益 (△は益)	—	1,190
固定資産除却損	13,524	59
投資有価証券売却損益 (△は益)	△37,605	△45,136
環境対策引当金繰入額	24,394	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△108,855	795,679
貸倒損失	—	41,128
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△373,903	△62,281
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,013	△556,373
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	89,072	△23,306
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	54,240	△88,340
長期未払金の増減額 (△は減少)	146,537	△432
その他	88	△7,491
小計	1,705,994	962,855
利息及び配当金の受取額	53,076	54,263
利息の支払額	△55,786	△56,355
法人税等の支払額	△285,356	△524,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,417,928	436,728
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△25,448	△25,448
定期預金の払戻による収入	31,948	25,448
投資有価証券の取得による支出	△894	△942
投資有価証券の売却による収入	60,145	78,174
有形及び無形固定資産の取得による支出	△970,441	△1,275,147
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	6,910
過年度子会社株式売却代金の回収による収入	6,752	1,540
長期貸付けによる支出	△19,222	△23,642
長期貸付金の回収による収入	—	55,242
その他	△4,497	25,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△921,658	△1,132,124

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△323,167	568,217
長期借入れによる収入	1,105,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△968,157	△1,051,285
リース債務の返済による支出	△121,700	△105,135
配当金の支払額	△70,157	△140,527
セールアンド割賦バック債務返済による支出	△20,536	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△12,510	—
非支配株主からの払込みによる収入	36,841	—
その他	△1,989	△1,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△376,377	270,018
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,291	17,197
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	95,600	△408,180
現金及び現金同等物の期首残高	2,527,497	2,623,097
現金及び現金同等物の期末残高	2,623,097	2,214,917

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が経営資源の配分の決定及び業績評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に市場、製品及びサービスの性質を総合的に勘案し事業セグメントを決定しており、「駆動システム」、「金型システム」、「機工・計測システム」の3つを報告セグメントとしております。

各セグメントの主な製品・サービスは次のとおりであります。

## 「駆動システム」

精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア等

## 「金型システム」

積層精密プレス型、モータコア型、精密金属プレス製品

## 「機工・計測システム」

保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、コンプレッサー等

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースでの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,241,679	4,629,529	4,883,588	17,754,797	—	17,754,797
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,116	—	53,849	67,966	△67,966	—
計	8,255,796	4,629,529	4,937,437	17,822,763	△67,966	17,754,797
セグメント利益又は損失 (△)	896,316	168,400	243,205	1,307,922	△30,000	1,277,922

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△30,000千円は、セグメント間取引消去△3,743千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△26,256千円であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,925,605	3,551,977	4,605,744	15,083,328	—	15,083,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,423	—	7,295	18,718	△18,718	—
計	6,937,028	3,551,977	4,613,040	15,102,047	△18,718	15,083,328
セグメント利益又は損失 (△)	358,234	△242,427	255,907	371,713	△32,856	338,857

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△32,856千円は、セグメント間取引消去△4,897千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△27,959千円であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

## 【関連情報】

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

日本	アジア	北米	ヨーロッパ	その他	合計
11,361,889	3,829,684	1,586,372	954,414	22,435	17,754,797

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

日本	アジア	北米	ヨーロッパ	その他	合計
8,875,149	3,167,277	2,000,825	1,026,360	13,715	15,083,328

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

3 各区分に属する主な国又は地域

アジア ……中国・韓国・台湾・マレーシア・フィリピン

北米 ……米国・カナダ・メキシコ

ヨーロッパ ……英国・ドイツ・イタリア・オランダ

その他の地域 ……ブラジル・イスラエル

## (2) 有形固定資産

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 千円)

日本	アジア	欧米	合計
5,495,050	240,042	493,241	6,228,334

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

日本	アジア	欧米	合計
6,006,720	248,922	436,692	6,692,335

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 千円)

	駆動システム	金型システム	機工・計測システム	全社・消去	合計
当期償却額	67,985	—	—	—	67,985
当期末残高	915,920	—	—	—	915,920

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	駆動システム	金型システム	機工・計測システム	全社・消去	合計
当期償却額	64,035	—	—	—	64,035
当期末残高	810,189	—	—	—	810,189

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,580.46円	1,529.08円
1株当たり当期純利益金額	155.19円	23.45円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	9,043,405	8,818,339
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	160,285	192,460
(うち非支配株主持分(千円))	(160,285)	(192,460)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,883,119	8,625,879
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	5,620,586	5,641,221

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	871,954	132,174
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(千円)	871,954	132,174
期中平均株式数(株)	5,618,468	5,635,766

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

該当事項はありません。

(2) その他

該当事項はありません。